

磐城通運株式会社（福島県いわき市）

社員の家族を含めた環境問題への取り組みに努めるとともにエコドライブ活動コンクールへの長年にわたる参加やエコドライブによる燃費向上を図るなど磐城通運株式会社 環境保全に関する活動に積極的に取り組んだ。

（取組みの概要）

■環境問題への意識付け

- ・「夏の節電ムダなく！賢く！」ポスターにより社内及び職員の家庭まで含めたエネルギー消費抑制を推進。
- ・毎年10月に社内でエコドライブ・コンクールを開催。
「エコドライブ通勤のすすめ」ポスター、エコドライブ通勤チェックシートにより全社的にエコドライブ活動を推進する体制を整備。



左から、「夏の節電ムダなく！賢く！」ポスター、「エコドライブ通勤のすすめ」ポスター、「エコドライブ通勤チェックシート」。

■環境負荷軽減のための燃費対策

- ・アイドリングストップの徹底などのエコドライブの推進と合わせて、活動のフォローアップ調査を行い、各車両ごとの燃費の前年同月比を把握することで「燃費・二酸化炭素排出量実績」データを作成し、ドライバーの教育・指導に活用。

燃費の向上

- ・社内に設置した環境問題対策委員会にて環境方針を策定、平成16年度からの20%の燃費向上を目標としている。
目標燃費は3.57(km/L)であり、平成29年度の実績は3.48(km/L)であった。

その他の取組み

- ・社内のエアコン設定温度の集中管理、エレベータの使用抑制等社内での節電を実施。
- ・その他、節電やエネルギー消費抑制のためのポスターを作成し、各職員家庭での節電も推進。



節電やエネルギー消費抑制のためのポスター

東日本旅客鉄道株式会社（東京都渋谷区）

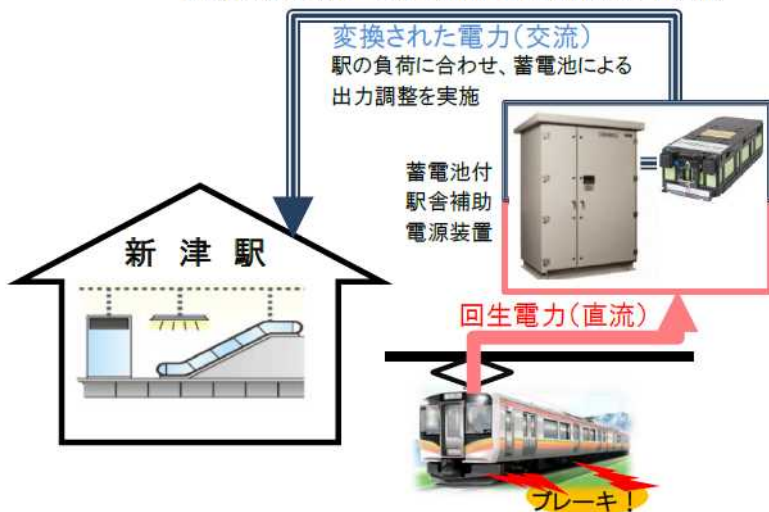
環境保全技術を導入した「エコステ」モデル駅においてブレーキ時の回生電力を活用するとともに、駅施設における鉄道林の間伐材の活用や雨水タンクの設置など環境保全に関する活動に積極的に取り組んだ。

（取組みの概要）

■環境負荷軽減への貢献

- ・省エネ、再エネなど様々な環境保全技術を駅に導入する取組みを行う「**エコステ**」のモデル駅として、信州本線の「新津」駅の整備を進め、平成29年4月から使用を開始している。
- ・主なエコメニューとして、電車のブレーキ時に発生する回生電力を蓄電し、駅施設等に供給できる「蓄電池付駅舎補助電源装置」を導入。
- ・回生電力は、通常近くを走行する電車で活用しているが、蓄電池付駅舎補助電源装置を導入したことにより近くに電車がいない場合などにも回生電力を駅の電力として有効活用。

近くに電車がなくても回生電力を活用可能



「エコステ」4つの柱

- 【創エネ】再生可能なエネルギーの積極的な導入
- 【省エネ】一歩進んだ省エネルギー化の推進
- 【エコ実感】利用者が「エコ」を実感できる施設の整備
- 【環境調和】人と環境との調和による活気の創出

【省エネ】LED照明

【創エネ】蓄電池付駅舎補助電源装置

【省エネ】高効率空調機器

【省エネ】雨水タンク(雨水利用)



<その他の取組み>

- ・鉄道車両へのLED照明の導入
- ・太陽光発電パネルの設置などによる自然エネルギーの活用
- ・駅ホーム照明のLED化や空調システムの見直し
- ・電力量表示装置の導入による駅消費電力の見える化